

青森市社会連合会報

第11号

発行者

青森市橋本二丁目一番十七号

青森市町会連合会

会長 坂本 松三郎

昭和四十七年四月二十六日発行

印刷

東奥日報社出版部

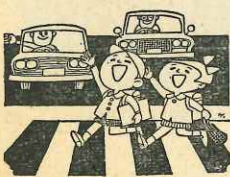
青森市から交通事故追放



毎日このような悲惨な事故が起きている!!

青森市スクールゾーン設置箇所

No.	学校名	車輛通行禁止	延長
1	造道小学校	クローバストア南側横通り	180 ^m
2	浪打小学校	佃駐在所前通り	750
3	佃小学校	松森団地～東部給食センター	600
4	筒井小学校	水場工場前通り	250
5	長島小学校	学校東横通り	100
6	古川小学校	学校西通り 旭町～学校東南角	100 350
7	甲田小学校	学校前通り	300
8	沖館小学校	沖中～学校前通り 石戸商店～学校ウラ通り	250 100
9	千刈小学校	学校前通り (2本)	800 400



現在、松原町、夜店通り、野脇第一、本古川、嘉重町、佃(二方所)久栗坂町会にあります。地元の方の要望があればできるだけ多く設置することになっておりますので、市公署交通安全課に申し込んで下さい。

最近、いたましい事故が続出しております。
これからは、青森市から交通事故を一件でもなくするため、市民がみずからの責任で努力しようではありませんか。今年の市の交通安全施設の整備状況は次のとおりでありますのでご協力下さい。
◎スクールゾーン(通学路天国)
子どもを交通事故から守るため、次の箇所にスクールゾーンを設置しました。この区間は、七時三十分から八時三十分まで、一時間自動車は通行禁止となります。

◎乗り上げ駐車場
新安方通り両側と、寺町通り片側を歩道に乗り上げて駐車施設をつくり、百六十八台収容する。現行施設をあわせて、八百台収容できることとなります。
◎歩行者天国
新町通りを、四月二十三日から毎月一回第四日曜日、十時から十七時まで開設します。
◎自転車道
浜町通り(神病院角から合浦公園裏通りまで)両側歩道二・五mに自転車道を設置する。
◎ちびっ子道路

昭和四十七年度予算が奈良岡市長の手で編成され、三月の市議会の議決を得、四月一日から執行されております。その中から、わたくしたちの生活に関係あるおもなものを紹介します。

昭和47年度予算(137億円)

わたくしたちの身近な施策

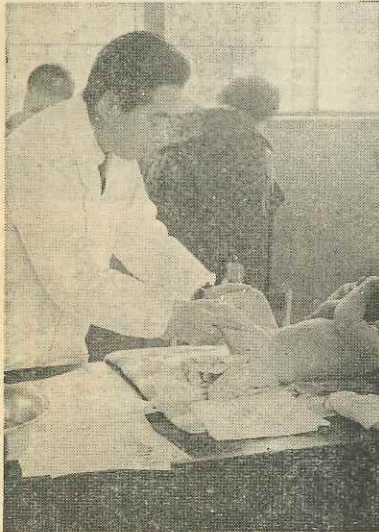
次に紹介した以外でも、火葬場を新築拡張し、働く婦人の家の建設、公害対策の強化、父兄負担の軽減など市民ひとりひとりのしあわを高めるための施策がたくさんあります。



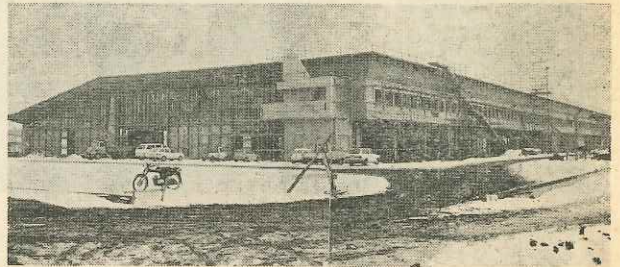
4カ所に児童遊園地、ちびっ子広場5カ所増設
全部で76カ所となる。ちびっこ道路も増設。



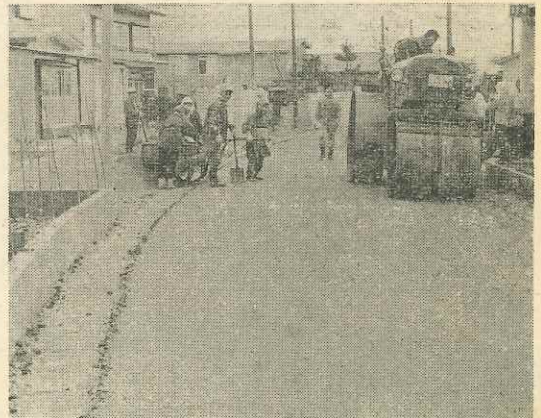
県内で初めて75歳以上の老人の医療費を無料にした。



市民税を払っていない世帯の乳児(1歳まで)の赤ちゃんの医療費を無料にした。



中央卸売市場10月完成し食品の物価安定がはかられる。



側溝の整備を大幅に2万2千m施行、道路舗装費4億1千万円計上。

消雪施設

旧浦町駅通り、六百m施行する。

東北本線跡地整備

旧浦町駅跡地に「平和公園」をつくる。堤川以東を遊歩道とする。

学校建設

中央小、横内小を増築、小柳小の新築、古川中を全面改築、一方、屋体は西中、東中、南中の建設、荒川中を復旧する。

青森市、

公害防止に本腰

四月から、きびしく条例改正

青森市では、四月一日から、規制内容をきびしく大幅に強化しました。

これにより、違反者には改善指導や警告、罰則の適用もできますので、隣近所で迷惑などがあつたら、公害交通安全課へ申し込むことにして下さい。

事業主が守ること

○公害防除施設の整備を行ない、市の公害防止対策に協力する。

○工場、事業場では、敷地内の緑化をは



緑と花の市 黒松を無料で市民へ

青い森の建設が、花いっぱいのはまちづくりを進めるため、五月八日から十四日

かり、屋外作業はしないようにする。
○振声機を使った商業宣伝については、音量を下げる。

市民のみさんが守ること

○自動車を持つている人、常に適正な整備と運転に心がけ、自動車騒音、排気ガスを最小限にとどめるようにすること。

○夜の十一時から翌朝六時まではステレオ、テレビ、ラジオ、人声などで、みだりに附近の静けさを害することのないようにする。

○海、河川、湖、公共水路などの公共水域に、たぐさんの土砂を流出させたり

までの七日間旧野脇中学校で「緑と花の市」が開かれます。

今回は、苗木生産者の即売会、黒松一万本の無料配布のほか、つぎ木の講習会も行なわれます。

また、緑と花の交換会のほか、樹根の展示即売、盆栽、園芸用品なども安く販売するなどの行事がもりだくさんです。

なお、開催期間中は、家庭緑化相談所も開設されますのでお気軽にご利用ください。

とき 五月八日～十四日

午前十時から午後六時まで

ところ 旧野脇中学校校庭

堆積させたりしないようにすること。

○ゴム、プラスチック、ビニール、皮革などは焼くと著しく煙と悪臭を出します。

ので、家庭では燃やさないでください。なお、ドラム罐などを利用した簡単な焼却炉で、多量の煙を出すゴミを燃やすことは禁じられます。

おらほの町会

花園第二町会

私たちの町会では町民ぐるみで次のことを行なっております。

町ぐるみ清掃運動

(イ) 毎月第一日曜日を町内清掃日と定め

家庭の周囲ならびにかきね、へいぎわの除草を行なう。

(ロ) 毎月第三日曜日を側溝の掃除日と定

め、側溝のゴミを取り除き流れをよくし特に春秋に実働する大掃除の節は泥上げを実施する。

(ハ) 毎朝自宅前の道路を清掃する事を立前とし、この運動を推進する。

一、ゴミの収集

(イ) 必ず収集日の朝出す。

(ロ) 汚物を天や猫がちらかしたりまたは紙くずはごみ入れに入れたりまたはふたをするかまたはよく縛って出す

(ハ) ゴミの集積所は不潔にならないよう

当番を定め、掃除、消毒し、消毒薬は町会から支給する。

二、花いっぱい運動

(イ) 町会花だんは、婦人会及び老人クラブで、遊園地の花だんは子供会です。入れ管理するのを立前とし、それに要する費用は町会から支給する。

(ロ) 鉢、空箱等を利用して、家庭花だんの造成運動を推進する。

(ハ) かきね、へいぎわ等家の周囲には四季の草花をさかせ、町名にふさわしい花園形成運動を推進する。

市政モニター募集

広く「市民の声」をきき市政に反映するため次のとおり広く公募しておりますので二十歳以上の方ならどなたでも(但し常勤の公務員を除く)申し込んで下さい。

一、しごと

市のアンケートに対する回答、提案

要望の提出など

二、人員 百五十人

三、委嘱期間 一年間

四、申し込み締め切り 五月十三日

五、申し込み先

青森市中央一丁目二十二の五

青森市役所広報広聴課

(尚モニターには謝辞を呈しませんが)

★簡易保険は 国営の生命保険です

簡易保険は、国がいとなみ、郵便局で取り扱っている生命保険です。生命保険は、ご家庭の生活安定と将来の希望をかなえるために大きな働きをしています。

この生命保険を、全国どこの郵便局でも取り扱い、ご加入やお支払いの手続きなどをできるだけ簡単にご利用していただけるようにしたのが、簡易保険なのです。

お知らせ

小さな親切運動を

展開しよう

どんな小さな親切でも認めあい善意に満ちた次の八ヶ条による小さな親切運動を行ないましょう。

- 一、朝夕のあいさつを必ずしましょう。
- 二、はつきりとした声で返事をしましょう。
- 三、他人からの親切を心からうけいれ「ありがとう」といましょう。
- 四、人からありがとうといわれたら「どういたしまして」といしましょう。
- 五、紙くずをまたらにすてないようにしましょう。
- 六、バスの中で老人や、あかちゃんをだいたおかさんへ席をゆずりましょう。
- 七、人が困っているのをみたら、手つだつてあげましょう。
- 八、他人のめいわくにならぬことばをゆめましましょう。

火災予防は

各家庭の注意で

最近毎日のように火災が発生しておりますが、火災は各自、各家庭の注意によって防ぐ事は出来ます。

お互いに火気に対する注意事項をよく守りわが家、わが町から火災をださないよう火の元に注意しようではありませんか。



交通災害共済に

全市民加入を

一日二円で

50万円補償

交通事故に会っても当座の費用がなぐ困っていることが多いので是非市民の全員が加入できるようにしてください。各町会長がまとめて下さってもよいし町会の集会所などに市役所から出張徴収に行くことにもなっております。

- 1、会費 一人 三五〇円
- 2、期間 加入したときから一年間 他市へ転出しても一年間は有効です。
- 3、見舞金

死亡	五十万円
傷害六カ月以上	十万円
傷害三カ月以上	五万円
傷害一月以上	二万円
傷害七日以上	五千元
傷害七日未満	二千元



ちびっ子道路 第八号誕生

四月八日から久栗坂臨浦園前にちびっ子道路が誕生、奈良岡市長もお祝いにかけて子供達にボールを贈りました。他の町会でも希望するところがありましたらとどしし市交通安全課に申し込んで下さい。

ご意見を

お寄せください

▽青森市町会連合会報は、市民皆さんの会報です。できるだけたくさんの方々のご意見、ご希望を反映させていきたいと考えています。

▽市民生活のなかでのさまざまな出来事、町の話題や自慢、あるいは他の町の方々にお知らせしたい事など、どんな事でも結構です。ご投稿ください。

広告掲載希望の

方はどうぞ……

この会報は各町内会を通じて市内全家庭に回覧されます。広告掲載ご希望の方は事務局へお申し込みください。

しあわせをささえる簡易保険

生活が安定していてこそ、あかるく楽しい毎日を送ることができます。簡易保険では危険が多い現代に即応するため、従来の簡易保険各種に傷害特約を加え好評を博しています。

くらしの設計の中に生命保険を取り入れておくことがもっとも大切なことです。郵便局が「あかるい家庭に傷害特約付簡易保険」とおすすめしているのもご家庭のしあわせを願っているからです。